

交通計画課長

副課長



鉄道事業室長

室員



復命書

令和5年6月30日

千葉県知事 熊谷俊人 様

所 属 総合企画部交通計画課

職氏名 副主査 秋葉 琢人



私は、命により旅行したところ、その概要は下記のとおりでした。
以上復命します。

記

- 1 用 務 北総鉄道株式会社第51期定時株主総会
- 2 旅行先 北総鉄道株式会社 本社1階会議室
- 3 旅行期間 令和5年6月23日(金)
- 4 概 要 決議事項2点について、異議無く承認された。
詳細は別添のとおり。

1 総会成立の報告

- ・定款の定めにより、室谷社長が議長を務める。
- ・有効議決権数は必要数に達しており、総会が定足数を満たす旨の報告。
 - 出席株主数：14名（委任状提出者も含む）
＜株主総数 15名＞
 - 有効議決株式数：49,780千株
＜発行済株式総数 49,800千株＞

2 監査報告

小山常勤監査役による監査報告。監査の結果、指摘する事項はなし。また、独立監査人によると、全ての重要な点において適正に表示していると報告を受けている。その監査の方法及び結果は相当であり、指摘すべき事項はない。本日の株主総会に提出している議案及び書類については、いずれも法令及び定款に適合しており、指摘すべき事項はない。

3 事業報告

室谷社長より、第51期（2022年4月1日～2023年3月31日）の事業報告、貸借対照表及び損益計算書等について説明。

4 質疑応答等

印西市・板倉市長

昨年度は北総鉄道創立50周年という節目に、長年の悲願であった運賃の値下げが実現した。これはひとえに、室谷社長をはじめ、経営陣の皆様の卓抜した先見の明と英断あってこそだと認識している。市民の皆様が変わり、深く感謝の意を表する。

この50年の貴社を取り巻く環境は、平坦なものではなく、貴社にかかわった多くの先人と、社長をはじめ、現在の会社の皆様の日々のたゆまぬ尽力により、わたくしたちの生活を支える重要な交通インフラである北総線が安全・安心に運行されていることにつきまして、改めて感謝を申し上げます。

また、3年前に始まった新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の危機においても、貴社の並々ならぬ経営努力により、第51期決算においても、23期連続黒字を達成したのみならず、長年の繰越損失を解消され、かつ有利子負債を着実に減少されたことについて、深く敬意を表する。

私も市民の代表として、できる限り株主総会に出席し、どうしたら北総鉄道の高運賃を解決できるか絶えず考えてきた。特に子育て世代の通学定期運賃については、20年前に沿線自治体による独自の補助金制度が創設され、現在まで多くの皆様のご努力により、運賃を抑制する施策が続けられてきた。その中で、昨年10月の運賃値下げで通学定期を、64.7%という異次元の大幅

値下げのご決断をいただいたことは、これまでの印西市の 20 年間の取り組みを振り返るとき、万感胸に迫る思いだった。日頃、感謝の気持ちを申し上げても、感謝しきれない気持ちである。おかげで、印西市においても、印西牧の原駅周辺を中心とする住宅開発や北総線沿線の企業立地は、コロナ禍においても、堅調に推移しており、今後も更なる飛躍をするものと確信している。

印西市としても、これまで以上に会社、県や沿線市で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動や千葉ニュータウン中央駅前でのイルミネーション「イルミライ INZAI」の実施、「ほくそう春まつり」への協力などを通じて、北総線沿線の活性化や利用促進に向け、責任感を持って取り組んでいくので、印西市の更なる利便性の向上や印西牧の原駅から都心方面への速達性の確保をご検討くださるようお願いする。

白井市・笠井市長

長年の懸案であった運賃値下げが貴社の英断により、昨年 10 月に実施され、特に、通学定期の大幅値下げにより、子育て世帯の家計負担が大きく軽減されたことについて、貴社に対し、市民からの感謝の声を多く聴いている。さらに、11 月には土曜・休日における普通列車の増発などにより、沿線住民の交通便利性の向上が図られた。これもひとえに、室谷社長をはじめ、歴代の経営陣・社員の皆様のご尽力や親会社の京成電鉄のご理解によるものであり、感謝している。

事業報告では、運賃値下げや沿線における住宅の新規開発等が北総線の利用者の増加に寄与しており、新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けていた乗降客数が回復してきたこと、そして、長年懸念されていた累積損失が解消され、利益剰余金がプラス計上されたことは、大変喜ばしく思っている。

また、昨年の運賃値下げと同時期に、千葉ニュータウン鉄道株式会社との小室駅から印旛日本医大駅間についての線路使用料の算出方法が見直されたことにより、今後の乗降客数が増加していくことで、経営の安定化に寄与するものと期待している。

これらの好材料の一方で、減少しているものの、いまだに多額の有利子負債があることから、今後の乗降客数の増加に向けて、沿線地域の活性化によるにぎわいづくりが重要であると考えている。本年 4 月に、本市も実行委員会として参加した「ほくそう春まつり 2023」は、5 年ぶりに開催され、雨天にもかかわらず約 2 万 3 千人の来場者があり大盛況であった。

貴社の成長戦略ビジョンに基づく施策と、沿線地域の活性化の取組みが両輪となり、同じ目標に向かったレールに、共に乗り、進んでいくことで、将来的に更なる運賃値下げに向けた好循環につながればと考えている。

貴社の益々の発展を祈念するとともに、市にとっての重要な交通機関である北総鉄道が安心・安全で、より利用しやすい鉄道となるよう協力していきたい。

鎌ヶ谷市・浜田室長（市長メッセージ代読）

本日は鎌ヶ谷市長からメッセージを預かっているので代読する。

（以下、メッセージ）

社長様以下、社員の皆様には、新型コロナウイルス感染症の影響や対応、ロシアのウクライナ侵攻に伴う、燃料や物価の高騰など不安定な社会情勢が続く中、安全・安心な鉄道運行という社会的使命を果たしていることに心から感謝申し上げます。

また、昨年度は利用者の声や沿線の将来を展望される中で、思い切った運賃の値下げを実施したことに心から御礼申し上げます。利用者の増加傾向が見られることは、こうした取り組みが、ダイヤ改正などと相まって、大きな効果を上げているのでは、と思っている。

沿線各市それぞれの今後のまちづくりには、北総鉄道との連携が必要ではと考えていますが、鎌ヶ谷市においても、新鎌ヶ谷駅の南側に位置する千葉県所有の約 7000 m² の共同事業体による開発が決定し、新たな賑わいの創出や発展に繋がるものと期待している。引き続きまちづくりへのご協力をいただくようお願い申し上げます。

最後に、貴社のますますのご発展を祈念するとともに、今後も沿線の活性化などに向けて、沿線市、千葉県と共に一層連携を深め、協同のまちづくりが進むようお願いして、私からのメッセージとする。

北総鉄道・室谷社長

昨年、会社創立 50 周年を迎えることができたが、これもひとえに印西・白井両市をはじめ、沿線各市、京成電鉄、千葉県や UR など、本日の総会にも出席している株主の皆様による長年にわたるご支援の賜物であり、また、この間、ご利用いただいた多くのお客様のおかげである。改めて、心から感謝申し上げます。

そして長年の懸案事項だった運賃についても、コロナ禍が続く中ではあったが、昨年 10 月から予定通り値下げが実施でき、先ほどの決算報告のとおり減収にはなったが、利用者は着実に増えている。このことに対しても、関係者の皆様に感謝申し上げます。運賃問題をめぐっては、これまで厳しい局面が続き、ともすれば対立の構図になっていたが、先ほどは今般の事情を振り返るとき、前向きな評価までもらった。

本来、沿線市と鉄道会社は WIN-WIN の関係にあるべきと思う。印西・白井・鎌ヶ谷の各市長からは、沿線活性化に向けた力強い言葉を頂いた。今後とも一層連携を密にして、沿線価値の向上、さらに利用したい鉄道、さらに住みやすい地域を目指し、ともに取り組んでいきたいと思っておりますので、これまで以上のご支援を賜りますようお願いする。

5 議案採決

第1号議案 取締役7名選任の件

⇒ 異議なく承認可決

第2号議案 退任取締役に退職慰労金贈呈の件

⇒ 異議なく承認可決

(以上)